

第20回 記念 日本獣医皮膚科学会 学術大会・総会のご案内



2017年 3/11 SAT - 3/12 SUN

会場 大宮ソニックシティ(さいたま市)

〒330-8699 埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-7-5

TEL048-647-4111 (埼玉県産業文化センター) <http://www.sonic-city.or.jp>

20回目の開催を記念して、ONE DERM ONE VET (皮膚科の統合、そして獣医学の統合) をテーマとし、医学と獣医学、過去と未来、日本と世界および皮膚科と他科の統合について、2日間にわたってディスカッションします。さらに、これまでの20年間に於いて獣医皮膚科学で得られた成果を検証し、統合された未来の獣医療を語るためのプログラムも企画しております。

3/10 FRI

■ 認定医講習会 (P.6 参照)

■ オーガナイザーの会

3/11 SAT

■ EAST ASIA VET DERM FORUM

協賛：富士フィルムモノリス(株)・病理組織検査 / ノースラボ

(各国の専門医を加えての臨床病理検討会です)

皮膚科診療では、時に「何だこの症例は!？」とか「こんな症例、どうやって考えれば...?」などと頭を悩ませる症例に遭遇することもあるかと思えます。このセッションでは国際獣医皮膚科専門医資格を有しているか、米国でのレジデント研修を修了したアジアの皮膚科獣医師が、頭を悩ませた症例を持ち寄ってみんなでディスカッションを行います。討論には会場の先生方他に、海外招聘講師を含むスペシャリストの先生方にも参加していただきますので、新しい知識が得られること必至です。なお発表やディスカッションは英語で行われますので、これを機会に英語の勉強も行いたい先生方、是非ご参加下さい。

座長：西藤公司 (東京農工大学)、賀川由美子 (病理組織検査 / ノースラボ)

アドバイザー：Craig Griffin (Animal Dermatology Clinic)、代田欣二 (麻布大学)

講師：村山信雄 (犬と猫の皮膚科)、伊從慶太 (株式会社 VDT)、
Maturawan Tunhikorn (Mahidol University)

本講演の使用言語は英語となります

■ 耳、魅惑の境界疾患に望む

協賛：エランコジャパン(株)

(中耳をとりあげ、今後の展望についてディスカッションします)

皮膚科だけでなく、様々な知識が必要となる中耳の疾患について、ONE DERM ONE VET を最も体現した企画が実現しました。数々の成書に執筆なさっておいで Dr. C.Griffin をお迎えし、どっぷりと中耳だけの講演をして頂きます。さらに内田和幸先生には病理変化を、金園晨一先生には神経学的異常を、浅川誠先生には外科手術を話して頂きます。これだけでは終わりません。実地例を大隈尊史先生と今井昭宏先生に報告して頂きます。贅沢すぎるこの企画をどうぞお見逃しなく!

座長：岩崎利郎 (東京農工大学名誉教授)、波止和子 (めい動物病院)

講師：Craig Griffin* (Animal Dermatology Clinic)、内田和幸 (東京大学)、金園晨一 (どうぶつの総合病院)、

浅川 誠 (どうぶつの総合病院)、大隈尊史 (東京農工大学)、今井昭宏 (どうぶつの総合病院) ※日本語通訳付

■ エキスパートからみた皮膚の世界

協賛：日本全薬工業(株)・大扇産業(株)

(エキスパートによる代表的研究の解説です)

獣医皮膚科学の進歩は目覚ましく、これまで無かった新しい概念や新しい診断・治療法が次々と臨床現場に導入されています。この潮流に乗り遅れないように、今回は、感染症、腫瘍、アレルギー分野の第一線でご活躍されているエキスパートの先生方に、それぞれの分野の現状とこれからの展望、皮膚科学との関わりについてご講演いただき、皮膚の世界をよりディープに掘り下げていきたいと思えます。

座長：大森啓太郎 (東京農工大学)、辻本 元 (東京大学)

講師：佐々木 崇 (順天堂大学)、増田健一 (動物アレルギー検査株式会社)、水野拓也 (山口大学)

■ 座談会 二度と聞けない皮膚科の歴史

協賛：(株)ファームプレス・日本全薬工業(株)

(日本獣医皮膚科学会の歴史および未来についてディスカッションします)

獣医皮膚科学会をリードしてきた歴代会長、創立時以来本会にかかわりその変遷を見守ってきた臨床獣医師、そして、これからの本会の舵取りを託されている類まれなる才能に恵まれた本会が誇る三傑。これらが一堂に会する台本なしのライブ！このゴージャスな面々はいったい何を語るのか？ Don't miss it !!!

座長：村井 妙 (キンダーケア動物病院)、永田雅彦 (どうぶつの総合病院)

講師：小暮規夫 (小暮動物病院)、大草 潔 (大草動物病院)、長谷川篤彦 (東京大学名誉教授)、辻本 元 (東京大学)、小方宗次 (ヤマザキ学園大学)、岩崎利郎 (東京農工大学名誉教授)、西藤公司 (東京農工大学)、前田貞俊 (岐阜大学)、小林哲郎 (NIH)

■ ワインと皮膚

協賛：ゾエティス・ジャパン(株)・共立製薬(株)

「えーっ、なんで皮膚科でワインなの？」と思われる方、まだまだ皮膚科の鍛錬足りないですよ！皮膚科では、病変を目で診て、嗅いで診て、そして触れて診て、病気を深く考えます。皮疹の表現もさることながら、病態や病巣を追求していきます。これ何かに似ていませんか？そうです。ワインテイastingです。グラスを傾け、ワインを眼で診て、嗅いで診て、そして口で触れて診て、セパージュ (ぶどう種)、生産地、ヴィンテージ (生産年)、作り手を深く追求していきます。その道のプロ (ソムリエ) をお呼びして、その心をお話し頂きます。皮膚科技量の向上になくてはならない講習となるでしょう。

座長：永田雅彦 (どうぶつの総合病院)

講師：西野裕宣 (JSA シニアソムリエ)

■ モーニングセミナー

協賛：ゾエティス・ジャパン(株)

「犬アトピー性皮膚炎の多面的治療を考える」講師：関口麻衣子 (アイデックスラボラトリーズ株式会社)

事前登録制(朝食付き)。本案内の2頁目をご参照下さい。

■ ランチョンセミナー ①

協賛：(株)V and P

「何に使う？ どう使う？ 脂肪酸」講師：大嶋有里 (犬と猫の皮膚科)

■ ランチョンセミナー ②

協賛：(株)ビルバックジャパン

「犬アトピー性皮膚炎の最先端 ～皮膚の恒常性を意識したスキンケア～」講師：伊從慶太 (株式会社 VDT)

事前登録制(昼食付き)。本案内の2頁目をご参照下さい。

■ 企業展示

■ 記念式典および懇親会

会場：パレスホテル大宮 4階ローズルーム (大宮ソニックシティ隣接)

時間：18時30分より (18時開場)

3/12 SUN

■ 身近な問題をテーマとした円卓会議

(身近な問題についてカジュアルに語り合う場です)

「円卓会議」は、身近なテーマを取り上げ、少人数で理解を深めようという新企画です。今回は、日々の診療で出会う機会の多い疾患や疑問に関する5つの題材を取り上げました。テーマ毎に部屋を分け朝食をご用意しましたので、食事をとりながら気軽にディスカッションを楽しんでください。「大きな会場で質問するのは恥ずかしい…」というシャイな先生も、「もっと講師に突っ込みたい！」というアグレッシブな先生も、ぜひご参加ください (事前登録が必要です)。

A：「皮膚科専門医 (認定医) を目指す臨床医の集談会」伊從慶太 (株式会社 VDT) 協賛：日本ヒルズ・コルゲート(株)

B：「アレルゲン特異的免疫療法の今、これから」大隅尊史 (東京農工大学) 協賛：日本全薬工業(株)

C：「どうやって除去する食物アレルギー？」川野浩志 (プリモ動物病院練馬 動物アレルギー医療センター) 協賛：日本全薬工業(株)

D：「耳はどうやって洗浄している？」柴田久美子 (YOKOHAMA Dermatology for Animals) 協賛：(株)インターベツト

E：「ニキビダニ症の治療 Up Date を語ろう！」村山信雄 (犬と猫の皮膚科) 協賛：(株)インターベツト

円卓会議は事前登録制(朝食付き)となります。(20名/1会場) 事前登録については本案内の2頁目をご参照下さい。

なお、事前登録なしで当日の参加も可能ですが、朝食の提供およびディスカッションへの参加はできませんのでご了解下さい。

治せる皮膚科を目指して

協賛：DS ファーマアニマルヘルス(株)

(他科の知識と技術を皮膚科診療に生かすための方策についてディスカッションします)

皮膚疾患は単に皮膚だけの問題でなく、他臓器疾患から起こる二次的な問題であった経験をきっとお持ちではないでしょうか？まさに「皮膚は内臓の鏡」なのです。本セッションでは皮膚科以外のスペシャリストに皮膚疾患との関連性について、それぞれの立場からお話し頂き、他科の知識と技術を皮膚科診療に生かすための方策についてミニディスカッションを行います。皮膚科のみでなく全ての疾患をオールマイティーにこなさなければならない我々獣医臨床家にとって、きっと大きなヒントを与えてくれることでしょう。

座長：門屋美知代（かどやアニマルホスピタル）、村井 妙（キンダーケア動物病院）

講師：折戸謙介（麻布大学）、藤井洋子（麻布大学）、細谷謙次（北海道大学）、入交眞巳（日本ヒルズ・コルゲート株式会社 / どうぶつの総合病院）

病気の本質と治療戦略を考える

協賛：インターズー(株)

(医学および獣医学の両側面から脱毛症およびアトピー性皮膚炎の病態および治療戦略についてディスカッションします)

動物種を超えて共有できる知見こそ、まさに病気の本質と言えます。本セッションでは脱毛症と皮膚炎を取り上げ、医学および獣医学領域から第一人者を招聘し、それぞれの立場からその世界観をお話し頂きます。そして本質を基底とした治療戦略をディスカッションします。古江増隆先生と坪井良二先生のオーラ、そして小林哲郎先生と大嶋有里先生のパッションは、参加者に皮膚科の本質のみならず人生の本質をも問いかけることでしょう。

座長：永田雅彦（どうぶつの総合病院）、尾崎清和（摂南大学）

講師：坪井良治（東京医科大学）、小林哲郎（NIH）、古江増隆（九州大学）、大嶋有里（犬と猫の皮膚科）

ガイドライン委員会(皮膚糸状菌症および犬アトピー性皮膚炎)からの報告

協賛：(株)キリカン洋行

昨年度までの学術大会では「犬表在性膿皮症」に関するガイドライン作成の進捗状況について報告が行われました。今年はさらに「犬アトピー性皮膚炎」ならびに「動物の皮膚糸状菌症」に関するガイドライン委員会からの報告が行われます。標準から外れない皮膚科診療を行うためにも、この報告会は必見です。

座長：西藤公司（東京農工大学）

講師：加納 壘（日本大学）、朝比奈良太（岐阜大学）

無知から始まる皮膚科学

協賛：動物アレルギー検査(株)

(発展途上にある獣医皮膚科学が発展していくためには何が必要かを講演いただきます)

私たちが目にする皮膚病変は時間軸および空間軸を基軸とする4つの次元で刻々と変化しています。この時空的变化が、「同じ疾患なのに皮疹は異なる」または「皮疹は同じなのに疾患は異なる」状況を生み出し、パターン認識による診断を困難にしているものと思われます。このダイナミックに変化する皮膚病変をどこまで科学的に説明することが可能なのでしょう？記載皮膚科学の枠組みも超えて、皮膚疾患をより科学的に診る意味について深く考える機会が必要と考え、今回の講演を企画しました。獣医皮膚科学の歴史に精通する長谷川篤彦先生をお招きして、我々が進むべき方向性についてお示し頂きます。

座長：前田貞俊（岐阜大学）

講師：長谷川篤彦（東京大学名誉教授）

一般講演とポスター発表

協賛：ロイヤルカナンジャパン

座長：大森啓太郎（東京農工大学）、川野浩志（プリモ動物病院練馬 動物アレルギー医療センター）、川原井晋平（麻布大学）、

関口麻衣子（アイデックスラボラトリーズ株式会社）、原田和記（鳥取大学）、島田健一郎（麻布十番犬猫クリニック）

みんなで症例検討会

協賛：メリアル・ジャパン(株)

「学会やセミナーで得た知識はあるはずなのに上手く使いこなせていない。」「教科書通りに治療しているはずなのに良くならない。」臨床現場でこんな経験をお持ちの先生達はたくさんいらっしゃると思います。そのような先生の声にお応えして、経験豊富な専門医と参加者をスマートフォンで繋ぐ双方向型の講義を用意しました。我々も現場で悩んだ症例をみんなで一緒に楽しく症例検討しましょう。皮膚科初学者の皆様の参加をお待ちしております！

モデレーター：横井慎一（泉南動物病院）、伊從慶太（株式会社VDT）

ランチョンセミナー ③

協賛：日本ヒルズ・コルゲート(株)

「ゴハンがかわる、ゴハンでかわる ～皮膚科における食事の立ち位置」講師：村山信雄（犬と猫の皮膚科）

ランチョンセミナー ④

協賛：エランコジャパン(株)

「今さら!? シクロスポリンのエビデンスを学ぶ」講師：永田雅彦（どうぶつの総合病院）

事前登録制(昼食付き)。本案内の2ページをご参照下さい。

企業展示

■ 一般講演

- 1 江州智行 犬の皮膚肥満細胞種における CD34 の免疫組織化学的評価と予後との関連
- 2 笠井智子 猫の鼻咽頭ポリープ 35 例の予後に関する後ろ向き研究
- 3 石田琳瑛 多型紅斑を疑いミコフェノール酸モフェチルの投与により良好に管理できた犬の一例
- 4 大隅尊史 犬アトピー性皮膚炎症例における *Enterococcus faecalis* FK-23 投与と臨床症状の変化に関する研究
多施設実施二重盲検無作為プラセボ比較試験
- 5 大池美和子 JAK 阻害薬オクラシチニブマレイン酸と組換え型 Der f 2- プルラン結合体による免疫療法を併用した
犬アトピー性皮膚炎の 2 例
- 6 江角真梨子 白内障を呈した犬アトピー性皮膚炎の 7 例
- 7 今西市朗 組換え endolysin のブドウ球菌に対する溶菌作用ならびに膿痂疹モデルマウスにおける発症抑制効果
- 8 玉原智史 フルララネルで治療したフィラリア陽性犬の疥癬症例と若年性のニキビダニ症例
- 9 今井昭宏 猫の耳に発生する炎症性ポリープの解剖学的分布に関する検討

■ ポスター発表

- 1 宮坂 聡 真菌症に起因したと思われる化膿性肉芽腫性炎の犬の一例
- 2 村上彬祥 皮膚薬物有害事象が疑われた犬の 2 例
- 3 杉山直也 シクロスポリンとオクラシチニブの併用が奏功した犬アトピー性皮膚炎の 1 例
- 4 舩山翔子 犬の壊死性遊走性紅斑を脂肪由来幹細胞で治療した 1 例
- 5 久保田翔太 長時間の散歩により熱傷を認めたミニチュア・ダックスフンドの 1 例
- 6 末次文雄 腸吸収障害と糸球体腎炎を合併した後天性皮膚無力症の猫の 1 例
- 7 福井祐一 エプリノメクチンにて治療した *Demodex gatoi* 寄生の猫の 1 例
- 8 福永嵩之 副腎皮質ホルモン製剤の長期投与中にウイルス性色素性局面と皮膚石灰沈着症を併発した犬の 1 例
- 9 飯島裕子 アフォキシソラネルによる治療を実施した犬ニキビダニ症 6 例
- 10 古川林太郎 耳道に B 細胞性リンパ腫を認めた猫の 1 例
- 11 島崎洋太郎 犬の表在性膿皮症由来 *Staphylococcus schleiferi* subsp. *coagulans* におけるメチシリン耐性を
予測するためのオキサシリン感受性ディスク試験のカットオフ値の検討
- 12 横山大希 片側膝部に限局した休止期脱毛より腹腔内精巢の腫瘍化を疑った犬の 1 例
- 13 内田二依菜 *Demodex gatoi* 寄生が関与した外傷性脱毛のヒマラヤンの 1 例
- 14 添田健作 スティーブンス・ジョンソン症候群の二次感染に対して辛島式イオン泳動治療装置[®]による治療が
奏功した犬一例
- 15 田端伴行 皮内検査と血清特異的 IgE 検査の陽性一致率の調査
- 16 榊優里彩 保護施設の犬の皮膚糸状菌保有率調査
- 17 加藤なつ紀 トリアムシノロンが奏功した猫の形質細胞性肢端皮膚炎の一例
- 18 高橋聡一郎 メチルプレドニゾロン酢酸エステル投与後の猫の副腎予備能の評価
- 19 土田靖彦 オクラシチニブ (アポキル[®]錠) の治療効果の検討と考察
- 20 中村有加里 犬のヘビ咬傷 一症例と文献的考察および予防啓発
- 21 石川乃梨子 シャンプー後に全身症状を伴った皮膚病変を呈したウェルシュ・コーギー・ペンブロークの 3 例
- 22 秋田孝広 犬ニキビダニ症におけるフルララネル製剤の多施設共同パイロット試験

協賛企業

ゾエティス・ジャパン株式会社	日本全薬工業株式会社
日本ヒルズ・コルゲート株式会社	ロイヤルカナンジャパン合同会社
DS ファーマアニマルヘルス株式会社	富士フィルムモノリス株式会社
バイエル薬品株式会社	共立製薬株式会社
株式会社ビルバックジャパン	株式会社 V and P
東レ株式会社	株式会社インターベット
エランコジャパン株式会社	株式会社エムイーテクニカ
メリアル・ジャパン株式会社	病理組織検査 / ノースラボ
株式会社ファームプレス	株式会社学窓社
文永堂出版株式会社	動物アレルギー検査株式会社
日清ペットフード株式会社	株式会社メニワン
千寿製薬株式会社	大扇産業株式会社
株式会社インターズー	日洋航空株式会社
株式会社ペティエンスメディカル	アイデックスラボラトリーズ株式会社
株式会社すとろーはうす	株式会社共立商会
コデン株式会社	フジタ製薬株式会社
株式会社キリカン洋行	合同会社GRB
株式会社セントラル科学貿易	(順不同)



大宮ソニックシティ

- 大宮駅西口から歩行者デッキにて直結 徒歩3分
* 自家用車での来場はご遠慮下さい。

<http://www.sonic-city.or.jp/>

開催日程

3月10日(金)

13:00 ~ 第20回 認定医講習会
18:00 ~ オーガナイザーの会

3月11日(土)

	小ホール (ホール棟 2 F)	国際会議室 (ホール棟 4 F)	パレスホテル
8:00			
9:00	開会の辞 9:15-12:00 EAST ASIA VET DERM FORUM 座長: 西藤公司(東京農工大学) 賀川由美子(病理組織検査/ノースラボ)	8:10-9:05 モーニングセミナー	
10:00	9:15-10:00 村山信雄(犬と猫の皮膚科) 10:00-10:45 伊従慶太(株)VDT 10:45-11:15 休憩 11:15-12:00 Maturawan Tunhikorn (Mahidol University)	9:15-12:00 エキスパートからみた皮膚の世界 座長: 大森啓太郎(東京農工大学) 辻本 元(東京大学) 講師: 佐々木 崇(順天堂大学) 増田健一(動物アレルギー検査(株)) 水野拓也(山口大学)	
11:00			
12:00	12:15-13:15 ランチョンセミナー ①	12:15-13:15 ランチョンセミナー ②	
13:00			
14:00	13:25-16:50 耳、魅惑の境界疾患に望む 座長: 岩崎利郎(東京農工大学名誉教授) 波止和子(めい動物病院) 講師: Craig Griffin (Animal Dermatology Clinic) 内田和幸(東京大学) 金園農一(どうぶつの総合病院) 浅川 誠(どうぶつの総合病院) 大隅尊史(東京農工大学) 今井昭宏(どうぶつの総合病院)	13:25-16:50 座談会 二度と聞けない皮膚科の歴史 座長: 村井 妙(キンダーケア動物病院) 永田雅彦(どうぶつの総合病院) 講師: 小暮規夫(小暮動物病院) 大草 潔(大草動物病院) 長谷川篤彦(東京大学名誉教授) 辻本 元(東京大学) 小方宗次(ヤマザキ学園大学) 岩崎利郎(東京農工大学名誉教授) 西藤公司(東京農工大学) 前田貞俊(岐阜大学) 小林哲郎(NIH)	
15:00			
16:00			
17:00	17:00-18:00 ワインと皮膚 座長: 永田雅彦(どうぶつの総合病院) 講師: 西野裕宣(JSAシニアソムリエ)		
18:00			
19:00			18:30 ~ 20回記念式典 ・懇親会 パレスホテル

3月12日(日)

	小ホール (ホール棟 2 F)	国際会議室 (ホール棟 4 F)	会議室 ビル棟 901~905
8:00			8:00-9:00 円卓会議
9:00			
10:00	9:15-11:40 治せる皮膚科を目指して 座長: 門屋美知代(かどやアニマルホスピタル) 村井 妙(キンダーケア動物病院) 講師: 折戸謙介(麻布大学) 藤井洋子(麻布大学) 細谷謙次(北海道大学) 入交真巳(日本獣医生命科学大学)	9:15-11:40 ガイドライン委員会からの報告 座長: 西藤公司(東京農工大学) 9:15-10:15 犬アトピー性皮膚炎 朝比奈良太(岐阜大学) 10:15-10:40 休憩 10:40-11:40 犬猫の皮膚糸状菌症 加納 壘(日本大学)	
11:00			
12:00	11:45-12:30 定時総会		
13:00	12:40-13:40 ランチョンセミナー ③	12:40-13:40 ランチョンセミナー ④	
14:00			
15:00	13:50-16:50 病気の本質と治療戦略を考える 座長: 永田雅彦(どうぶつの総合病院) 尾崎清和(摂南大学) 講師: 坪井良治(東京医科大学) 小林哲郎(NIH) 古江増隆(九州大学) 大嶋有里(犬と猫の皮膚科)	13:50-16:50 一般講演 座長: 大森啓太郎(東京農工大学) 川野浩志(プリモ動物病院練馬動物アレルギー医療センター) 川原井晋平(麻布大学) 関口麻衣子(アイデックスラボラトリーズ(株)) 原田和記(鳥取大学) 島田健一郎(麻布十番犬猫クリニック)	
16:00			
17:00	17:00-18:00 無知から始まる皮膚科学 座長: 前田貞俊(岐阜大学) 講師: 長谷川篤彦(東京大学名誉教授)	みんなで症例検討会 モデレーター: 横井慎一(泉南動物病院) 伊従慶太(株)VDT	
18:00	18:10-18:30 アワード・閉会の辞		

ポスター発表

ポスターセッション 15:00~15:30